

事務事業名	中小企業者店舗等近代化融資金利子補給事業					☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 03	働く人々が輝く続けるまちづくり				所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
施策名	計画 12	商工業の振興				所属係	商工振興班	課長名	財津幸泰
基本事業名	体系 35	生産・流通基盤の確立				担当者名	中嶋 繁之	電話番号 (内線)	248-1115 1253
予算科目	会計 01	款 07	項 01	目 02	事業	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 18 年度 ~) (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 中小企業者店舗等近代化融資金に係る利子補給の事務事業。 商工業者の育成・支援のために店舗等の新築改修に伴う借入金の利子補給を行うものである。 (業務の内容) 店舗の新築、改修等に関して、500万円、利率8%を限度として36ヵ月分の利子補給を行う。 初年度申請の際に審査会を開催。その後は年に1回の支払。 申請(実績)、受付、初回時のみ審査会、交付決定、支払。 (予算の内訳) 補助金(230,000円)						総 投 入 量	事業 費	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
								事業費計 (A)	0
								人件費	
								正規職員従事人数	
								延べ業務時間	
								人件費計 (B)	0
								トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

継続4件 新規4件 230,000円
審査会1回

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度同様 230,000円

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

利子補給申請者

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

中小企業者の育成、支援のために店舗等の改善に伴う借入金の利子補給を行うことにより、店舗の改善を行いやすくする。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

経営基盤が確立している。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 利子補給者数	人
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 利子補給申請者数	人
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 利子補給件数	件
イ 利子補給金額	円
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 中小企業製品出荷額	円
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			230	230	200	200	200
			事業費計 (A)	千円	0	0	230	230	200	200	200
	人件費		正規職員従事人数	人			1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間			100	100	100	100	100
			人件費計 (B)	千円	0	0	397	397	397	397	397
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	627	627	597	597	597
活動指標			人			8	6	6	6	6	
対象指標			人			4	2	2	2	2	
成果指標			件			8	6	6	6	6	
			円			155,000	230,000	230,000	230,000	230,000	
上位成果指標			円								

事務事業名	中小企業者店舗等近代化融資金利子補給事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 利子補給に関する規則（H3. 4）の施行により取り組みが始まった。合併に伴い同規則を合志市においても適用。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどうか変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 利子補給に関する規則（H3. 4）の施行。
 合併以前は旧合志町のみで旧西合志町は実施していなかったが、合併により旧西合志町エリアにおいても摘要が拡大した。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
 店舗の改修以外の設備投資（自動車購入費用・大型家電設備などの購入）にも摘要してほしいとの意見があった。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 中小企業者の育成、支援のために店舗等の改善に伴う借入金の利子補給を行うことにより、店舗の改善を行いやすくなり、合志市内の店舗の改善が進み、より多くの人が地元で購入するようになるので結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 合志市内の全中小企業・零細商工業者が対象であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 旧西合志エリアでの周知をさらに図ることにより、利用者の増加につなげる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 利子補給をすることによって店舗改修がすすんできたが、利子補給事業を廃止することにより旧態以前の店舗設備が続き市民の地元での購買意欲がうすれる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現在、利率が少ないので、利子補給の予算も小額でありこれ以上の削減の余地はない。 両商工会事務局の協力が得られている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 両商工会の協力が得られているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 合志市内の全中小・零細商工業者を対象としており公平・公正である。

合志市

事務事業名	中小企業者店舗等近代化融資金利子補給事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

旧西合志エリアでの周知をさらに図ることにより、利用者の増加につなげる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

現状のままでよいが、さらなる制度の周知を行い、利用者の増加を図る。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

制度周知のためのホームページ活用。
商工会への市事業の説明会の開催。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項